

# JUNCTION



## CONTENTS

国際交流センター紹介	2
九州産業大学派遣留学案内	3
平成 26 年度派遣留学生紹介	4
派遣留学生体験記	5
交換留学生紹介 (受入れ)	6
交換留学生体験記 (受入れ)	7
留学生会から新入生のみなさんへ	8
留学生の四季	9
日本語弁論大会	10
日本文化研修	11
平成 26 年度国際交流の歩み	12



# 国際交流センター紹介

Information from KSU Center for International Affairs

## 国際交流センターとは

国際交流センターは、大学の国際交流を進めさせ、多くの学生及び外国人留学生在大学の制度・環境を利用して世界への見識を深め視野を広げること、人生をより豊かなものとするを目的としています。主な業務は、派遣留学や留学相談の受付、本学に在籍する外国人留学生在の生活上のサポート、外国の大学・教育機関との教員・学生間交流、留学生行事の開催など様々な取り組みを行っています。



場所：中央会館2階  
時間：9時00分～16時30分(月～金)  
9時00分～12時30分(土)

## 留学を目指している方、必見！

国際交流センターでは留学に関する雑誌・各種パンフレットなど自由に閲覧できます。雑誌の閲覧は全て自由ですので気軽に立ち寄ってみてください。また、留学に関する相談も随時受け付けています。派遣留学や私費留学についてアドバイスをしますので、留学に興味がある方、派遣留学制度について詳しく知りたい方は、ぜひお越しください。



留学関係情報誌

## 国際交流センターには、様々な情報がいっぱい

国際交流センターからのお知らせは、中央掲示板と国際交流センター懇話室内の掲示板に掲示しています。国際交流行事や留学生との交流行事、派遣留学関係など様々な情報を掲示していますので、定期的にチェックしてみてください。

また、外国人留学生を対象とした履歴書の書き方やエントリーシートの書き方、面接試験の受け方など、就職活動に必要な本の貸し出しもしていますので、一度借りてみてはいかがでしょうか？



国際交流センター内掲示板



中央掲示板

## 展示ケースには海外のお土産や記念品がいっぱい

国際交流センターの展示ケースには、中国や韓国をはじめ、イギリスやフランスなど協定校からのお土産や記念品を展示しています。展示物の中には、中国の茶器や韓国の仮面劇のお面、民族衣装、文房具、遊具など珍しい品々が取り揃っており、他国の伝統、芸術、文化等を楽しむことができます。



海外からの記念品の品々

## 国際交流センター懇話室で、留学生と異文化交流してみたいか

現在、九州産業大学には500人を超える留学生在が在籍しています。留学生的の9割が中国からの留学生。その他に韓国、ベトナム、ネパール、台湾、バングラデシュ、インドネシア、ミャンマー、インド、モンゴル、ブラジル、アメリカ、イギリスなどから留学生在が来ています。国際交流センターには毎日多くの留学生在が来ており、留学生と話す機会を容易に持つことができますので、国際交流や語学に興味のある方は留学生と異文化交流してみたいかですか？



国際交流センター懇話室



国際交流アワー

## 留学生チューター制度“TOP”

平成25年度より始まった留学生チューター制度“TOP”は今年で3年目を迎えます。この“TOP”は、留学生在が学生生活をスムーズに送れるように、日本人学生が留学生的の学習面、生活面のサポートをする制度です。日本人学生は、年間を通じて開催される留学生在関連のイベントへの参加、相互学習をしながら語学力を伸ばすことができ、双方に多くのメリットがあります。毎年4月に募集を開始しますので、異文化交流に興味があり、留学生在と交流したい方はぜひ“TOP”に登録してください！



立花山ハイキング

## 留学生チューター制度を経験して

お名前：宮里 貴司  
芸術学部デザイン学科4年  
出身高校：小塚高校(沖縄県)



本人写真

私が海外や外国語に興味を持ったのは、九産大のチューター活動を始めてからです。初めは、留学生チューター制度“TOP”が存在すること自体を知らなかったが、既にチューター登録をしていた友人から情報を得て、当時海外に興味を持ち始めていた私もチューター登録をしました。私はチューター活動をしていく内に、更に国際交流へ興味を持つようになりました。授業の学外演習で韓国へ行き、長期休暇には留学生在と本州観光(日本)、卒業研究ではヨーロッパへ行く等、国際交流をすることが好奇心から興味、興味から趣味へと変わっていきました。

また、韓国、中国、インド、ネパール、ベトナム、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、ブラジル、ペルーなど、様々な国籍の友人をつくることになりました。

またその方法は簡単で、国際交流センターにてチューター登録をし、国際交流センター主催のイベント事に参加します。そこで留学生在と交流して仲を深めれば、大学に在籍している期間だけでなく、今後一生の友達をつくることもできます。

この国際交流に特化した九産大だからこそ、私はこの留学生チューター制度を利用しアクティブでグローバルな大学生活を送ることができました。

国際交流に少しでも興味のある方、海外や外国語に興味のある方には、国際交流センターにてチューター登録することをオススメします！

## 国際交流センターホームページ

国際交流行事や留学生会行事、派遣留学に関する情報などをホームページで紹介しています。内容は随時更新していますので活用してください。



<http://www.kyusan-u.ac.jp/J/international/>



# 九州産業大学派遣留学案内

Guide of Studying Abroad

九州産業大学では、経済学部、商学部第一部・第二部、経営学部、国際文化学部の学部生を対象とし、8月から翌年1月までの約6ヵ月間(派遣先大学により前後します)、派遣留学生として交換留学協定校に派遣しています。また、芸術学部の学部生を対象に芸術文化交流を目的とした交換留学制度があり、ドイツへは10月から翌年2月までの約5ヵ月間、フランスへは隔年で9月から12月までの3ヵ月間、学生を派遣しています。  
(※交換留学協定校については平成27年4月現在)

## 文系学部 交換留学協定校



アメリカ  
アビリン・クリスチャン大学  
<http://www.acu.edu/>



イギリス  
リーズ・ベケット大学  
<http://www.leedsbeckett.ac.uk/>



イギリス  
オックスフォード・ブルックス大学  
<http://www.brookes.ac.uk/>



フランス  
リール・カトリック大学  
<http://www.univ-cochille.fr/>



中国  
中国人民大学  
<http://www.ruc.edu.cn/>

## 芸術学部 交換留学協定校



韓国  
東亜大学校  
<http://www.dongguk.edu/>



韓国  
東亜大学校  
<http://ent.dongguk.ac/>



ドイツ  
シュトゥットガルト造形美術大学  
<http://www.abk-stuttgart.de/>



フランス  
ボルドー美術学校  
<http://www.ebacx.fr/>

### 派遣留学生になるには？

#### 1. 留学フェア・派遣留学報告会に行こう！

国際交流センターでは、数度にわたり留学フェアや派遣留学報告会などを開催しています。留学した先輩の話を聞いたり、疑問点を質問したりと、留学実現へ近づく第一歩です。漠然と留学を考えている人も、ぜひ気軽に参加してください。各イベントの日程などはK's Lifeや掲示板でお知らせします。

#### 2. 語学力に磨きをかけよう！

派遣留学生になるには、出願後、選考試験を受験しなければなりません。各選考試験は下記の表の通りです。早め早めに学習を始めれば、必ず結果はついてきます。少しずつ、語学力アップに向けて取り組んでみましょう。

#### 3. 派遣留学募集説明会に行こう！

派遣留学説明会では、選考試験のスケジュールや内容、奨学金、派遣先大学の最新の情報などをお知らせします。興味のある人はぜひ参加して下さい。

#### 4. 願書提出～選考試験（書類・語学試験・面接）

派遣留学願書を提出したのち、派遣先大学に応じた必要な試験を受験します。その後、派遣留学生が決定されます。出願資格がある限り何度でもチャレンジできます。学生の間だけのこのチャンスを利用してぜひ留学を実現させて下さい。

### 平成28年度 派遣留学選考内容等(予定)

対象学部	国	大学	派遣期間(予定)	選考内容
経済学部 商学部第一部 商学部第二部 経営学部	アメリカ	アビリン・クリスチャン大学	平成28年8月～平成29年1月	書類選考・TOEFL ITP・面接
	イギリス	リーズ・ベケット大学	平成28年8月～平成29年1月	書類選考・TOEFL iBTスコア51以上* IELTSスコア4.5以上*・面接
	イギリス	オックスフォード・ブルックス大学	平成28年8月～平成29年1月	書類選考・IELTSスコア4.5以上*・面接
	フランス	リール・カトリック大学	平成28年8月～平成29年1月	書類選考・フランス語筆記試験・面接
国際文化学部	中国	中国人民大学	平成28年8月～平成29年1月	書類選考・中国語筆記試験・面接
	韓国	東亜大学校	平成28年8月～平成29年3月	書類選考・韓国語筆記試験・面接
芸術学部	韓国	東亜大学校	平成28年8月～平成29年2月	書類選考・韓国語筆記試験・面接
	ドイツ	シュトゥットガルト造形美術大学	平成28年10月～平成29年2月	書類選考・TOEFL ITP・面接
	フランス	ボルドー美術学校	隔年派遣のため平成28年度は無し	書類選考・TOEFL ITP・面接

\*各セクションごとに必要なスコアの条件があります。詳細は国際交流センターまで。

# 平成 26 年度派遣留学生紹介

KSU Exchange Students



派遣留学許可書交付式

アビリン・クリスチャン大学 (アメリカ)  
平成 26 年 8 月～平成 27 年 1 月



ましま ゆうき  
眞島 優希  
商学部第一部商学科 3 年  
香椎高校



あらい なおき  
荒井 直輝  
経営学部国際経営学科 3 年  
嘉穂東高校



なかむら みこと  
中村 美郷  
国際文化学部国際文化学科 2 年  
新宮高校

リーズ・ベケット大学 (イギリス)  
平成 26 年 9 月～平成 27 年 1 月



おぐら あきこ  
小倉 明子  
商学部第一部商学科 3 年  
宗像高校



やまさわ ゆうた  
山沢 雄大  
経営学部国際経営学科 3 年  
高校卒業程度認定試験  
大学入学者選考

リール・カトリック大学 (フランス)  
平成 26 年 8 月～平成 27 年 1 月



やまき ひとみ  
山口 瞳  
国際文化学部国際文化学科 3 年  
九州産業大学付属九州高校



はいた ゆうま  
灰田 優馬  
経営学部国際経営学科 2 年  
豊国学園高校

オックスフォード・ブルックス大学 (イギリス)  
平成 26 年 8 月～平成 27 年 1 月



たぐちまさや  
田口 誠也  
国際文化学部国際文化学科 4 年  
大牟田高校

中国人民大学 (中国)  
平成 26 年 8 月～平成 27 年 1 月



にしのかえど  
西野 楓  
商学部第一部観光産業学科 4 年  
福岡工業大学付属福岡東高校



やました あや  
山下 彩  
経済学部経済学科 3 年  
福岡女子高校

東亜大学校 (韓国)  
平成 26 年 8 月～平成 27 年 3 月



さねふし すずか  
實藤 鈴華  
国際文化学部国際文化学科 4 年  
九州産業大学付属九州産業高校



くろみず ゆうか  
黒水 汐香  
国際文化学部臨床心理学科 2 年  
北九州高校

東亜大学校 (韓国)  
平成 26 年 8 月～平成 27 年 2 月



なかばやし あき  
中林 亜樹  
国際文化学部国際文化学科 2 年  
下関南高校



にしだりゅういちろう  
西田 龍一郎  
国際文化学部国際文化学科 2 年  
一ツ葉高校

シットカウトガルト通商美術大学 (ドイツ)  
平成 26 年 10 月～平成 27 年 2 月



ちょうじこうへい  
帖地 光平  
芸術学部写真映像学科 4 年  
西南学院高校

## 「半年間の留学生活と語学過程、これからの課題」



(本人写真左)

なかばやし あき  
中林 亜樹  
国際文化学部国際文化学科 2 年  
派遣留学先：東亜大学校 (韓国)

留学する前は、釜山には日本語が話せる人が多いイメージが強く、正直安易に考えていた部分がありました。しかし、いざ留学が始まると、まだ韓国での生活に慣れないうちから韓国語を使用しなければならない事がほとんどでした。そんな中で、語学学校も始まり、教室には日本人は私一人という初めての状況、そして授業で先生方が話している内容が理解できずもぐもぐ日々でした。担任の先生からも最初は心配をされる日々もありました。そんな中でも、日本人の手伝いをしてくれる韓国人のパートナーが私を支えてくれながら、授業中に困難もありましたが予習復習を欠かさず行いました。日本人一人だからこそ、他の国の人との関わりももっと大切にしていかなければならないと思い積極的に行動し、サークル活動にも参加し、日本語を話せる人がいない状態でも関わりを持つようになりました。

そうしてやっと自分の中で前進できそうな時に初めての試験に臨みましたが、納得できる結果ではありませんでした。それを踏まえ、今後どのように改善を行えばよいのか考えていた時、一緒に留学している友人が復習ノートを作成していることを知りました。私もそれを始めるとともに、疑問点はすぐ先生に聞き、個人的に連絡を行うようになりました。そのようなわずかなことを行うことによって、勉強したことがより頭に残るようになりました。また、韓国語を書くことを意識的に行う習慣も、以前より身につきました。この時から勉強に対して義務的というより意欲的になり、韓国人と気楽に話せるような変化や、他の留学生とのコミュニケーションの内容が深くなりました。このような生活をしていったおかげで、無事にクラス合格認定をもらい、その時の状況は今でも鮮明に覚えています。今の私がいるのは、この時のほんのわずかな変化から始まりました。



旅行でドラマ撮影地へ (本人写真一番右)



現地で仲良くなった友人と (本人写真右)

前半期の間は、慣れないことが多く忙しい日々もありましたが、この経験は成長するための道でもあったと考えています。

私の留学先である東亜大学校は1学期が2か月のため、11月は1か月の休暇期間でした。休暇期間も、韓国人や留学生となるべく一緒に過ごし、語学力が低下しないように過ごしました。

そして2学期が12月に早くも始まり、この時からほんのわずかですが帰国が近づいているという実感が湧き、クラスの難易度が上がってもなお学習への高い意識が生まれました。ただ、難易度が一つ上がっただけで、そのクラスの人達の会話力が大きく変わり、とても驚きました。

1月から最後の授業までの時間の経つスピードは思っていた以上に早く、より韓国語学習を行いたい気持ちと、今までになかった日本が恋しくなる思いが複雑に混ざっていました。最後の日まで、自分の語学力がいかに足りないかを痛感しました。しかし、約半年間韓国で過ごしてきたことは、人生の中で貴重な経験となり、自身の成長に繋がりました。

留学は、実際にしてみると日々やるべきことが多いですが、その分思っている以上に多くのことを経験することができます。半年間でも、自分次第で自分を強くすることができます。困難にぶつかることもありますが、それもプラスになることの方が多く、これから留学する人は思いっきり充実した日々を送ってください。



# 派遣留学生体験記

Outbound Exchange Program

## 「留学を通して学んだこと」



はいだ ゆうま  
灰田 優馬

経営学部国際経営学科 2年  
派遣留学先：リール・カトリック大学 (フランス)



(本人写真一番左)



現地でできた友人と (本人写真一番右)

私は、今回のフランス留学でとても多くのことを学びました。最初は何も考えず、現地へ行けばどうにかならうと思っていて、不安は全くありませんでした。しかし、現実には上手く行かずとても大変なことが多かったです。フランスに到着して学校が始まるまで、初めて見る景色や、周りには日本人以外の人がいる環境にワクワクした気分でもありました。しかし、大学の正規の授業が始まる前にあったフランス語準備コースを受けた時、正直授業の内容についていけなくて、そこから不安が出てきて少し落ち込んでしまいました。そこで自分の考えが甘かったということに気づきました。そのコースは2週間程あり、受講している学生は他の国からの留学生合わせて16人ほどでした。周りには他の留学生はフランス語のレベルがとても高く、先生とも問題なく流暢に話していました。私はその授業でほとんどフランス語を理解することができませんでした。先生の話す速度にも、プリントにできる単語にも自分の知識は追いつかず、自分の部屋に戻っては勉強ばかりでした。この時思ったことは、言葉を聞き取るのはまだしも、今部屋でしていることは日本ででもできることで、なぜ留学前に勉強しなかったのだと後悔しました。これから留学をする後輩には、留学に行く前に語学力を増やすなど、日本でできることをしっかりして、海外では海外ならではの経験をして欲しいと思います。そして、そのフランス語準備コースが終わり大学の正規の授業が始まりました。私はとにかくフランス語を話せるようになることが目的だったので、映画を見て会話を学ぼうと考え、映画の授業を中心に授業を履修しました。実際の授業では気が付くことがたくさんありましたが、1つ言えることは、1つの講義の学生数は約10人で、気が付いたこと、疑問に思ったことをどんどん発言しながら、先生と会話をするような感じで授業が進んでいくということです。それでいて、学生もきちんと授業の内容を理解しながら講義が進んでいきました。また、フランスでの授業は黒板

を全く使いません。先生が話した内容を、学生がノートパソコンを使って大事な部分を書き込んでいく形でした。日本の大学の講義では、私は黒板に書かれたことをノートに書き、貰ったプリントを見ながら講義を受けていました。しかし、講義は先生が持っている知識を学生たちに伝えるもので、先生が話していることが一番大切だということを今では気付くことができました。今後の講義では、先生の話を中心に聞いて理解しながら学んでいこうと思いました。またテストについても、自分の考えを自分なりに論述していくもので、日本との違いを改めて感じました。

私は今回の留学でフランス語の上達を目的としていましたが、フランス語の他に学んだことがあります。それは英語の大切さです。フランスでの生活でフランス語を学ぶことはもちろん大事なことですが、フランス語以外でコミュニケーションをとる方法が英語でした。世界共通言語の英語は、やはりどこへ行っても通じ、ほとんどの留学生は英語も話していました。小学校から高校までずっと英語の授業を受けていたはずなのに、聞くことも話すことも難しく、英語でのコミュニケーションはとれませんでした。この時、英語の大切さ・重要性を本当に知ることができたと思います。留学する前も、英語がどれほど大切かということを知っていた気でしたが、今は全く分かっていなかったと思います。世界には色々な国があり、言語があります。その一つ一つを覚えなくても、世界共通言語の英語を覚えることで様々な国の人と話すことができるようになります。最後に、私が伝えたいことは「語学の楽しさ」「留学することで人として成長できること」です。細かいことまでは書ききれませんが、この2つのことは、留学することで身をもって体験することができたと思います。留学前は、語学力は向上すると思っていたのですが、様々な経験を通して、語学力とともにそれ以外の面でも成長することができました。

## 留学フェアを開催しました！

平成26年度は6月に2号館1階円形ホール、11月に1号館2階サブフロアで留学フェアを開催し、合計で約550名の学生が来場しました。平成26年度の留学フェアでは、派遣留学報告会や本学OBによる講演会、また留学サポート会社によるセミナーや留学相談など、様々な催しが行われました。会場には派遣留学生が留学先で撮影した写真や、留学情報などを常設展示し、外国人留学生から学ぶ外国語コーナーも設けました。

来場した学生は、留学という同じ目標を持った友人との出会いや、外国人留学生と交流できる機会が持てたようです。留学をしてみたいと考えている方は、ぜひ来場ください！



留学生から学ぶ外国語コーナー



マルタ島での語学留学体験談



派遣留学OBによるキャリアアップ講演会



留学サポート会社による各種セミナー



派遣留学報告会



資料展示コーナー

# 交換留学生紹介 (受入れ)

Exchange Students from Partner Universities

平成 26 年度は交換留学生 9 名を九州産業大学で受入れました。



カタギリアン レイチェル  
**片桐 晏 Rachel** (アメリカ)  
協定校: アビンクスチャン大学  
受入学部: 国際文化学部  
受入期間: H26.4-H26.9



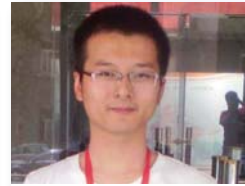
キム ヒョン  
**金 喜真** (韓国)  
協定校: 東亜大学校  
受入学部: 国際文化学部  
受入期間: H26.4-H26.8



キム ヒョヨン  
**金 孝瑛** (韓国)  
協定校: 東亜大学校  
受入学部: 経営学部  
受入期間: H26.4-H26.8



デレック キャメロン  
**Derek Cameron** (イギリス)  
協定校: オックスフォードブルックス大学  
受入学部: 国際文化学部  
受入期間: H26.9-H27.8



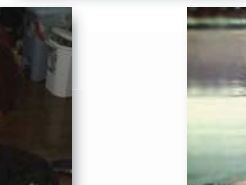
チン コウ  
**陳 鴻** (中国)  
協定校: 中国人民大学  
受入学部: 国際文化学部  
受入期間: H26.9-H27.8



パク ガラム  
**朴 駕濤** (韓国)  
協定校: 東国大学校  
受入学部: 国際文化学部  
受入期間: H26.9-H27.2



カタリーナ ヤブス  
**Katharina Jabs** (ドイツ)  
協定校: シュトゥットガルト造形美術大学  
受入学部: 芸術学部  
受入期間: H26.9-H27.2



リー ジンジュ  
**Lee Jinju** (韓国)  
協定校: シュトゥットガルト造形美術大学  
受入学部: 芸術学部  
受入期間: H26.9-H27.2



テディ コスト  
**Teddy Coste** (フランス)  
協定校: ボルドー美術学校  
受入学部: 芸術学部  
受入期間: H26.9-H26.12



## 交換留学生が講師となって小学生と交流体験をしました！



デレック キャメロン  
**Derek Cameron**  
協定校: オックスフォード・ブルックス大学 (イギリス)  
受入期間: 平成 26 年 9 月～平成 27 年 8 月

九州産業大学での留学中に、私は古賀市にあるひだまり館で「小学生にイギリスのことについて教える」という経験をする事ができました。クラスは1時間のクラスが2コマで、主に子供が興味を持ちそうなイギリスの文化や食べ物、その他様々なことを教えました。子どもたちは特にイギリスの食べ物に関心があり、「揚げチョコレート(Deep fried chocolate)」には興味津々でした。発表が終わった後、子どもたちからは多くの質問があり、その後「だるまさんが転んだ」の遊び方を説明してくれました。この説明が終わるとすぐに、「だるまさんが転んだ」で遊び、次に私から「What's the time Mr. Wolf? (狼さん、今何時ですか?)」という似たようなイギリスの遊びを教えました。この遊びが終わった後、子どもたちから英語でお誕生日の歌を歌ってくれるというサプライズがあり、この心の込められたおもてなしに、とても幸せな気持ちになりました。

私は子どもたちにイギリスという国やその文化について教え、子どもたちもまた私に日本文化について教えてくれました。先生や保護者の方たちも、私に日本とイギリスの文化や教育システムの違いを説明するために時間を割いてくれました。このような、忘れられない素晴らしい経験をさせていただき、子どもたちとひだまり館のスタッフ、そして九州産業大学の職員の方々にはとても感謝しています。

平成 26 年 12 月 20 日 (土)、交換留学生デレック・キャメロンさんが「ひだまりバスポート」の講師として、古賀市隣保館「ひだまり館」を訪れ、イギリスの文化や遊びを紹介しました。「ひだまりバスポート」は外国の「言葉・文化・遊び」を通し、互いに理解しあうことを目的とした異文化交流事業の一環で、今回初めて本学の留学生を派遣しました。小学生にとって「イギリス」という国を知る良い機会となり、小学生から多くの質問が飛び交っていました。イギリスの遊びや日本の遊びを通じて、交流を深めることができました。



イギリスについて教える様子 (本人写真左)



During my study abroad at Kyushu Sangyo University, I was able to teach elementary school children at Koga City Settlement House "Hidamari Museum". My role was to teach two 1 hour classes about the United Kingdom's culture, food, and various other things that the children may have wanted to know. The children were interested in the U.K.'s food, especially the idea of deep fried chocolate bar. After my presentation the children asked a lot of questions then they explained the game Daruma-San ga koronda, which we played straight after the explanation, and I showed them a similar game from the U.K called "What's the time Mr. Wolf?" After playing games the children had a special surprise for me and sang happy birthday to me in English. This was very thoughtful and nice, it made me very happy. While I was there to teach the children about my country and culture, the children also helped me learn a little bit more about Japanese culture. The teachers and parents also took their time to explain differences in Japanese culture and the school systems. It was a very nice experience and one that I was always treasure, for that I am thankful to the children and staff at Hidamari as well as the staff at KSU that helped me to have this experience.



# 交換留学生体験記 (受入れ)

Experience of Studying at KSU



テディ コスト  
Teddy Coste  
協定校：ボルドー美術学校 (フランス)  
受入期間：平成 26 年 9 月～平成 26 年 12 月

この3ヶ月間の生活は、非常に実りある有意義なもので、経験、技術、そして友情を得ることができました。

芸術学部の先生方をはじめ、日本語指導の先生、ラグビーコーチ、友人など数えきれないほど多くの方にお世話になり、私の留学生生活を忘れられないほど素晴らしいものにしてくれた全ての人に、感謝の気持ちでいっぱいです。

実際に日本で生活を送ると、今まで全く知らなかった日本文化に触れることができました。日本に来る前、日本文化に関する書物をたくさん読みましたが、そこに文字や写真だけでは、私がここで経験したことを表現しきれません。

日本での留学期間中は、観光や街行く人のファッションを見たり、人と交流したりすることに多くの時間を費やしました。また、日本人の立ち居振る舞いには多くの影響を受け、自分自身の考え方や態度をより気をつけるようになりました。

九州産業大学では、陶芸、タペストリー、そしてアニメーションを学びました。日本に来る前までは、これらの分野を学んだことはなかったので、とても貴重な経験と知識を得ることができました。

陶芸クラスの工房に初めて入った時、私はその工房の中にある陶器の作品を見て回りました。すると、虹色の美しいボウルがありました。「これはどうやって作るのですか？」と先生に尋ねると、「化学混合物を混ぜた金属エナメルで作ります」と答えてくれました。

私は、芸術家は価値を作り出す錬金術師なのだと思いますが、様々な要因があってその価値を自らコントロールすることはできません。芸術の“美”とはそのコントロールできない部分に見出されるものだと私は思っています。

また、陶芸作品の制作にあたり、年に2回しか使用することのない柿右衛門様式窯で窯開きをする現場を実際に見ることができて本当に良かったです。先生は、850度以上の高温で燃えている窯内の様子を見せてくれました。陶器は熱で輝き、その状態が変化していく様子はとても面白く、幻想的でした。

タペストリーのクラスでは、シンプルなパターンから学び始め、分からない時は



バーベキューパーティー (本人写真中央)



「友情の証」を表した作品

先生にデザインの方法などを聞いたりしました。そして、新たに作ったタペストリーには、友情の証として3本の矢を描きました。3本の矢を綺麗に同じ形にしたかったので、どうすればよいか先生に尋ねると、「その矢はとても綺麗ですよ。ハンドメイドは同じものは2度と作れないし、完璧にすることもできないが、それがハンドメイドの良さなのです」と言いました。それを聞いて私はホッとしました。なぜなら、前にも述べたように、完璧にコントロールできないものに大きな魅力を感じるからです。

アニメーションのクラスでは、アニメーションソフトの使い方を初めて習い、今では簡単なアニメーションを制作することができるようになりました。これは芸術作品を作る時だけでなく、宣伝ビデオなどを作る際にも非常に役に立ちます。これらの技術を学ぶことができ、本当に良かったと思っています。

日本での生活で、お好み焼きやたこ焼き、しゃぶしゃぶ、モツ鍋など、こんなに美味しい日本食があることは知りませんでした。今までに食べたことのない味で、とても好きになりました。また、京都は金閣寺や銀閣寺、伏見稲荷、東京は渋谷、築地、原宿、新宿、六本木などの素晴らしい場所を訪れました。これらの経験は忘れられない貴重なものとなりました。ヨーロッパでは絶対に見ることができない居酒屋や屋台、パチンコなども面白く、カラオケは本当に楽しかったです。大学ではラグビーサークルにも入り、多くの友人を作ることができました。

日本人の素晴らしいことに感動し、日本という国はとても優しく温かく、親切で秩序のある国なのだと思います。

1冊の本を書けるほど、たくさんの伝えたいことがあります。1つの文章にまとめます。日本の洗練された美しさを日本人と共有でき、またこのような素晴らしい経験をさせて頂き、本当にありがとうございました。

## 先輩交換留学生からの声 Voice from a senior exchange student



ジョショウショウ  
徐 初照  
協定校：中国人民大学 (中国)  
受入学部：国際化学部  
受入期間：平成 22 年 9 月～平成 23 年 8 月

### 1. 現在はどこでどのような事をしていますか？

私は大学3年生の時、中国人民大学から九州産業大学に交換留学しました。今は中国復旦大学大学院の3年生で、2015年の6月に卒業する予定です。今は卒業論文に追われている毎日です。また、(株)三井住友銀行に内定が決まっており、今年7月から社会人になります。社会人1年目の新たな出会いとチャレンジを楽しみにしています。

### 2. 九州産業大学に交換留学しようと思ったきっかけは何ですか？

高校3年生の時に、中国の高校生代表として日本政府に招待され、初めて日本に来ました。1週間ちょっとの時間で、東京、群馬そして福岡を訪問しました。福岡では一泊二日のホームステイを体験し、美しい海と福岡タワーは特に印象深かったです。その時から福岡が好きになり、大学3年生の時に幸運にも九州産業大学に交換留学生として留学することになりました。

### 3. 九州産業大学での留学はどのように活かされていますか？

九州産業大学での留学期間中、指導教授の石川先生の紹介で、中国と深く関わりのある日本人作家、阿部知二氏の作品に出会いました。大学の卒業

論文は阿部知二氏の小説『北京』をテーマにしました。大学院進学後も引き続き、阿部知二氏の中国小説の研究をしています。交換留学中は、中国語同好会「悟空」のサークル活動にも参加し、さらに石川先生の中国語の授業の助手をさせて頂きました。そのおかげで、色々な日本人学生と交流することができ、日本のこと、また母国中国のことをより広い視野で考えることができるようになりました。

今でもそんな大切なチャンスを与えてくれた九産大と石川先生に心から感謝をしています。



現在の徐さん

### 4. 日本人、福岡の印象はどうでしたか？

日本語を勉強してから7年目、この7年の間にいろいろな日本人に出会いました。その出会いの中でほとんどの方が親切で、大切なことをいろいろ学びました。一言で言い尽くせないのですが、とにかく日本のこと、日本人のことが大好きです。

また、福岡は京都と並んで多分一番好きなのところかもしれません。欲しい物は全て揃い、東京や大阪のような大都市の慌しさがなく、落ち着いたのんびりできるところが気に入っています。いつかまた福岡と九産大に戻りたいです！

### 5. 最後に、将来の目標について教えてください。

7月から社会人になるので、これからはいろいろなことを学んで1日でも早く一人前の社会人になりたいです。さらに、もっと大きな夢と言えば、それは将来自分の努力を通して、できるだけ多くの日本人に中国のことを理解してもらい、いつか両国民が互いに理解し合う日がくることを願っています。

# 留学生会から新入生のみなさんへ

Greetings from International Students Union

新入留学生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんは故郷を離れ、それぞれの夢や希望を持って日本へ留学し、九州産業大学に入学したと思います。大学入学は新たな自分の人生の第一歩と思って下さい。

大学へ入学しても、最初は どうしたら良いかわからないかもしれません。まずは日本語をしっかり勉強し、きちんと単位を取って下さい。それは学生としての義務です。

そして、自分の趣味や好きなことでいいので、何か一つ、とことん深く追求してみてください。結果を問わず、目標を決めて充実した大学生活を送ってください。私たち留学生会は皆さんが力を発揮できる舞台を準備しています。大学では、日本語弁論大会、サッカー大会、学園祭での模擬店、異文化交流行事、日本文化研修などの様々なイベントがあります。これらの行事は、各国の人々と交流したり、異文化に触れたりすることができる良いチャンスです。

また、平成25年度から始まった留学生のためのチューター制度を活用し、積極的に行事に参加したり、多くの友人を作ったりして、皆さんの大学生活を有意義なものにして下さい。

また、他国から来た留学生との交流や、その文化に接することで自分の考えや自国文化の思想だけではなく、他の考え方や文化があるということがわかります。それは視野を広げ、自身の成長に繋がることと思います。

一生懸命頑張ってください。皆さんが人生の目標を実現できるよう、心より祈っております。



平成26年度 留学生会役員一同



海の中道海浜公園でのバーベキューパーティー



中国人留学生の香椎祭模擬店出店



福岡県留学生会主催サッカー大会

## 母国料理紹介～韓国～



韓国には様々な料理がありますが、今回は韓国の方が雨が降った時に思い出すという韓国料理を紹介します。その料理はチヂミです。なぜなら、雨が降っている時の音と、チヂミを焼く時の音が似ているからです。チヂミは日本のお好み焼きと似ていますが、お好み焼きより薄く、たれに付けて食べます。チヂミは卵と小麦粉で作られた料理で、キムチ、イカやエビなどの海鮮、ニラ、にんじん、玉ねぎなどの野菜と一緒に混ぜて焼き上げます。材料を変えることによって、キムチチヂミ、海鮮チヂミ、ニラチヂミなど、様々な種類のチヂミを作ることができます。

### キムチチヂミの作り方



キムチチヂミ



ニラチヂミ



海鮮チヂミ

### 材料（4人分）

白菜キムチ …… 適量  
青ネギ …… 5本  
赤唐辛子 …… 1個  
イカ …… 適量  
小麦粉 …… 1カップ  
卵 …… 2個  
水 …… 1カップ  
塩 …… 少々  
サラダ油 …… 大さじ3

### 基本情報

調理時間：30分  
カロリー：266kcal(1人分)

### 作り方

1. お好みに合わせて白菜キムチを適当な大きさに切る。
2. 青ネギは一口の大きさで切って、赤唐辛子は小さく斜めに切る。
3. イカは千切りにする。
4. ボウルに小麦粉、卵を入れ、水を少しずつ加えてだまにならないように混ぜながら、塩を適量入れて味付けする。
5. 4に白菜キムチ、青ネギ、赤唐辛子、イカを入れて混ぜる。
6. 熱したフライパンに油をひき、1枚分の量の生地をフライパンに注ぎ焼く。

### ★生地を焼くときのコツ

生地の片面がキツネ色になった時にひっくり返せば  
破れずきれいに返すことができます。

### タレの作り方

1. 醤油2スプーン
2. 酢1スプーン
3. 唐辛子の粉少々
4. ゴマ少々
5. 青ネギ少々(小さく切ったもの)

以上1～5を混ぜる。



# 留学生の四季

Quarterly Journal of International Students

本学では13カ国595人（平成26年5月1日現在）の留学生が、遠く故郷を離れ、それぞれの目標に向かって勉学に励んでいます。留学生同士、日本人学生、地域住民の方々との親睦を深めるため、本学では、留学生会が組織されており、様々な交流活動を実施しています。

 4.24 留学生会定例総会	 6.1 新入留学生歓迎バスハイイク (阿蘇ミルク牧場)	 6.21 4 大学合同スポーツフェスティバル	 11.1 ~ 3 香椎祭	 3.19 留学生送別会							
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
 5.14 在留生活指導会	 7.19 福岡県留学生会 (FOSA) 主催 サッカー大会	 10.11 バーベキューパーティー (海の中道海浜公園)	 12.6 日本語論大会	 12.6 日本語論大会懇親会	 5.14 新入留学生懇談会	 5.24 立花山ハイキング	 10.11 バーベキューパーティー (海の中道海浜公園)	 10.18 グローカルフェスティバル (千早並木広場)	 12.14 日本文化研修 (熊本城 他)		

## 県費留学生紹介



タケタ  
竹下 クリスティ  
国籍：ペルー  
受入学部：芸術学部写真映像学科  
受入期間：平成26年4月～平成27年3月



バーベキューパーティーにて (本人写真中央)

### ※ 福岡県移住者子弟留學生事業

在外福岡県人会の子弟を県内の大学等に毎年1年間留学生として受け入れている制度です。留学により各自の専門の知識や技術を習得させると共に、福岡県の文化や社会の真情に触れ、また地域住民との交流を深めることによって、将来当該移住国における日系人社会の発展及び福岡県と移住国との国際交流に寄与するべく、有為な人材を育てることを目的としています。

私は竹下クリスティといいます。ペルーのリマ出身で、日系3世です。写真の勉強をするために、福岡県移住者子弟留學生事業の交換学生プログラムを利用して、九州産業大学に来ました。

日本を訪れるのは初めてで、日本語も話すことができなかったため、来日前は日本での学生生活がどのようなものになるのか少し不安でした。しかし、実際の日本での生活は予想以上に楽しいものでした。日本で経験することのどれも私の期待以上で、特に大きかった出来事は日本に住んでいる私の親戚と会ったことでした。

日本文化に少なからず触れる機会を持ちながら育った私ですが、実際の日本での生活で、私の視野は大きく広がりました。日本人の礼儀正しさや、いつも親切に他人と接しようとする姿に非常に驚きました。日本に来て以来、私が出会った日本人はいつも親切で、気遣いをして下さったので、そんな彼らを本当に尊敬しています。

九州産業大学では写真の勉強をしていました。大学を初めて訪れた時、"とても良くしてください!"という印象を受けました。私の指導教授は百瀬俊哉先生でした。

百瀬先生のゼミを履修し、前期と後期にそれぞれ写真展を開きました。展示会の準備から開催までの過程も非常に楽しく、百瀬先生の指導の下で写真の勉強ができて本当によかったと思っています。

写真の授業に加え、私は学内の様々な行事にも参加しました。日本語の授業を2つ受けたり、前期は陶芸の授業も受けたりしました。日本の伝統的な食器の作り方を学ぶことは非常に面白かったです。また、テニスサークルや、英語グループにも参加しました。国際交流センターの助けもあり、私はできる限り多くの学内行事に参加することができました。そういった行事のおかげで、多くの九産大の学生達と知り合うことができました。そんな彼らと一緒に、バーベキューパーティーを楽しんだり、熊本にある牧場を訪れたり、熊本城へ旅行に行ったりしました。

九州産業大学での1年間の生活はとても楽しく、私の学生生活をとても素晴らしいものにしてくれました。温かい歓迎と気遣いのある日本、福岡、そして九州産業大学にいつかまた戻って来られたらと思っています。

# 日本語弁論大会

Japanese Speech Contest

## 日頃の日本語学習の成果をスピーチに込めて！

平成 26 年 12 月 6 日（土）に「留学生による日本語弁論大会」が開催されました。今年で 7 回目を迎えた日本語弁論大会では、16 人の留学生が発表を行いました。今回の弁論大会では、留学生生活での自身の成長や自国と日本の違い、そして将来の夢などについてのスピーチ聞くことができました。観客は、留学生ならではの体験談や苦労話に聞き入り、会場は感動や笑いが生まれ大いに盛り上がりました。

今回は数ある発表の中から、「困った日本語」をテーマにスピーチし、オーディエンス賞を受賞した侯方淑（コウ ホウシュク）さんの発表を紹介します。



### 「困った日本語」

私は中国で 2 年間日本語を勉強し、自信を持って日本にきました。しかし、福岡の日本語を聞いて、私はショックを受けました。

「何しよう？」、「よかよか？」、「よかよか」、「まだ終わらんと？」、「何しよう？」、「寝とうと」

えー！これはどういう意味なのだろうかと思いました。授業中に勉強したことのない言葉ばかりです。無理矢理に覚えて、日本語学校の先生に聞きました。するとそれは「博多弁」でした。

実は、「博多弁」に困っているのは留学生だけではなく、東京から転勤で福岡に来た日本人の友達も、博多弁を聞いて、「えっ、困ったな、なんだか外国語みたいで全然分からない…」と言っていました。

### オーディエンス賞

コウ ホウシュク  
侯 方淑（中国）  
経営学部国際経営学科 2 年



そして「博多弁」以外に「若者言葉」もけっこう大変でした。今の若い人たちがよく使う言葉は「やばい」です。様々な場合に使われます。例えば「やばい、このケーキめっちゃやばい」、この場合「このケーキはとてもおいしい」という意味になります。しかし、もともとの「やばい」の意味は、全然「おいしい」というものではありません。このように、「やばい」は形容詞としてよく使われます。ちなみに「がばい」はどこの方言でしょうか？佐賀弁ですね。もう一つ困っている言葉は、「全然大丈夫」です。「全然」の後には否定形になるはずですが、これはおかしいです。そう思ってもう一度先生に聞きました。これもまた「若者言葉」でした。

今の私は、このような言葉にはもう慣れました。留学生の皆さんも、私のように「博多弁」や「若者言葉」に悩んだことがあると思います。しかし、このような言葉も一つの地域の文化だと思います。そう思わな？

## 日本語弁論大会発表者

<p><b>奨励賞</b></p>  <p>テイ ヘイシュウ 鄭 丙秀（中国） 経営学部国際経営学科 2 年 「自分を変えることはいつでも遅くない」</p>	<p><b>奨励賞</b></p>  <p>リ カケイ 李 夏蕙（中国） 商学部第一部商学科 1 年 「懐かしい宮崎の旅」</p>	<p><b>奨励賞</b></p>  <p>パク ガラム 朴 駕濫（韓国） 国際文化学部交換留学生 「日本に来て気づいたこと」</p>	<p><b>審査員特別賞</b></p>  <p>パルハイトイ アリフジャン 帕尔哈提 阿力甫江（中国） 経営学部国際経営学科 1 年 「バイト」</p>	<p><b>審査員特別賞</b></p>  <p>チン コウ 陳 鴻（中国） 国際文化学部交換留学生 「私の小さい村」</p>	<p><b>最優秀賞</b></p>  <p>チョウ ケントウ 張 軒棧（中国） 経済・ビジネス研究科 現代ビジネス専攻 1 年 「明かり」</p>
<p><b>奨励賞</b></p>  <p>カ シンヨウ 何 志祥（中国） 経営学部産業経営学科 3 年 「私（留学生）の目から見る留学生生活」</p>	<p><b>奨励賞</b></p>  <p>コウ コウイ 黄 虹璋（台湾） 商学部第一部観光産業学科 3 年 「台湾について」</p>	<p><b>優秀賞</b></p>  <p>アクタル ファルザナ Akter Farjana （バングラデシュ） 経営学部国際経営学科 4 年 「これからのバングラデシュ」</p>	<p><b>奨励賞</b></p>  <p>イ ジフワン 李 知勲（韓国） 経営学部国際経営学科 3 年 「日本に行くまでの私の人生」</p>	<p><b>奨励賞</b></p>  <p>トウ コクコン 董 国昆（中国） 経営学部国際経営学科 4 年 「留学の中でゴールは何か」</p>	<p><b>奨励賞</b></p>  <p>グリミル 古麗米熱 居来提（中国） 国際文化学部臨床心理学科 4 年 「私の夢」</p>
<p><b>オーディエンス賞</b></p>  <p>アレンダク ヤーメルン Derek Cameron （イギリス） 国際文化学部交換留学生 「日本人の外国人に対する反応」</p>	<p><b>オーディエンス賞</b></p>  <p>オウ タンセイ 王 丹青（中国） 国際文化学部国際文化学科 1 年 「留学生と日本の礼儀」</p>	<p><b>オーディエンス賞</b></p>  <p>コウ ホウシュク 侯 方淑（中国） 経営学部国際経営学科 2 年 「困った日本語」</p>	<p><b>オーディエンス賞</b></p>  <p>シヨウ ナン 蔣 楠（中国） 経営学部産業経営学科 3 年 「ありのままでのいいの？」</p>		



# 日本語弁論大会

Japanese Speech Contest

## 弁論大会終了後の懇親会

例年、弁論大会終了後に発表者と来場者の懇親会を開催し、お互いより多くの交流が生まれています。

また、今回は2カ国の留学生にお国自慢料理を作っていました。ベトナムからは生春巻き、中国からは中華エビ炒めを作っていました。来場者に振る舞いました。来場者からは、“とても美味しかった”や、“普段なかなか口にするのできない料理を堪能できて大満足”との声を聞くことができ、大好評でした。



懇親会の様子



お国自慢料理



スピーチ発表者と来場者の様子

## 日本文化研修

Japanese Cultural Tour



昼食時の様子



平成26年12月14日(日)に、留学生日本文化研修を実施しました。今回は、日本人チューター学生も参加し、熊本城と歴史文化体験施設「湧々座」を訪れました。



熊本城にて



熊本城では、当時のままに復元された本丸御殿や天守閣等を見学し、特に本丸御殿の「昭君之間」では壁、襖、天井に描かれたきらびやかな障壁画に皆、目を奪われていました。



湧々座にて



また、湧々座では熊本の約300年の歴史文化を役者による演劇や映像を通じて体験し、日本の歴史や文化に触れることができました。

# 平成26年度国際交流の歩み

The Chronicle KSU International Exchange in 2014

平成26年度は以下の国際交流協定校等と学生・教職員の受入れ・派遣を行いました。この学生交流・教員交流・学術交流を通して、友好の絆はますます深まりました。なお、平成26年度の主な国際交流の実績は、以下のとおりです。

## 受入れ



上海工程技術大学芸術設計学部との学生・教員交流



サイプレス大学 (アメリカ)

日程：平成26年6月3日(火)～7月2日(水)  
目的：日米学生間の学習、文化交流と福岡市内での日本文化体験と研修  
受入：学生4人・教員1人



忠南大学校経商大学 (韓国)

日程：平成26年6月20日(金)～6月24日(火)  
目的：学生・教員交流のため  
受入：学生22人・教員3人



東西大学校デザイン学部 (韓国)

日程：平成26年7月1日(火)～7月4日(金)  
目的：学生・教員交流及び学生交流作品展のため  
受入：学生38人・教員4人



上海工程技術大学芸術設計学部 (中国)

日程：平成26年7月15日(火)～7月22日(火)  
目的：学生・教員交流及び撮影研修のため  
受入：学生21人・教員3人



蔚山大学校デザイン大学 (韓国)

日程：平成26年7月25日(金)～8月3日(日)  
目的：学生・教員交流及び集中講義受講のため  
受入：学生40人・教員2人



中国人民大学外国語学部 (中国)

日程：平成26年7月31日(木)～8月2日(土)  
目的：教職員交流のため  
受入：職員1人

## 派遣



梨花女子大学校との学生・教員交流



東西大学校デザイン学部・蔚山大学校デザイン大学 (韓国)

日程：平成26年8月18日(月)～8月23日(土)  
目的：学生・教員交流及び学生交流作品展のため  
派遣：学生11人・教員3人



上海工程技術大学芸術設計学部 (中国)

日程：平成26年8月25日(月)～8月29日(金)  
目的：学生・教員交流及び撮影研修のため  
派遣：学生5人・教員1人



忠南大学校経商大学 (韓国)

日程：平成26年10月31日(金)～11月3日(月)  
目的：学生・教員交流のため  
派遣：学生17人・教員2人



中国人民大学 (中国)

日程：平成26年11月1日(土)～11月4日(火)  
目的：学術・教員交流のため  
派遣：教員2人



梨花女子大学校 (韓国)

日程：平成26年11月3日(月)～11月6日(木)  
目的：学生・教員交流のため  
派遣：学生26人・教員2人



サイプレス大学 (アメリカ)

日程：平成27年2月7日(土)～3月1日(日)  
目的：学生・教員交流のため  
派遣：学生14人・教員2人

## 国際理解教育 (カンボジア編)

### カンボジア地雷被害者ドス・ソピアップさんの国際平和学習開催！「私はあきらめない！」

平成26年9月29日(月)、一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーンを通じて、地雷被害者であるドス・ソピアップさん(23歳)をお招きし、カンボジアの厳しい現状や、地雷がいかに残虐な兵器であるか、またこれまでの地雷被害者としての体験談、今後の夢などについてお話していただきました。

片足を失ってもなお、彼女の「あきらめない気持ちが大切だ！」という力強い言葉に、参加した学生は熱心に聞き入り、国際的な問題に理解を深める貴重な機会となりました。



ドス・ソピアップさん(写真左)とご家族



ドス・ソピアップさん(写真中央)

※一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン

カンボジアの地雷撤去と被害者支援を目的に活動する国際NGO。

1998年に現理事長の大谷賢二氏が立ち上げ、現在、福岡本部とカンボジア事務所を拠点に、地雷撤去支援、被害者の就業支援、地雷原での教育支援を続けています。

## 今号の表紙

国際交流センター報のタイトルになっているJUNCTION(ジャンクション)とは、連絡点、接合点、交差点の意味があることから、人と人との交流を大切にしたいとのコンセプトに基づき、命名されました。

今号の表紙は、派遣留学に行った日本人学生が現地で撮ってきた写真と、本学の外国人留学生在が交流イベントに参加した時に撮った写真を集めたものです。

編集・デザイン/芸術研究科 造形表現専攻 川島 咲  
発行/九州産業大学国際交流センター  
〒813-8503 福岡市東区松香台 2-3-1  
TEL (092)673-5588 FAX (092)673-5611

注)掲載している職名及び学生の学年は平成26年度のものであります。